

明治大学マンドリンコンサート・進行表

★（開演前）緞帳に整列 → 緞帳上がる

①（Sailing、Sailing 歌終了。）

～「Sailing! Sailing!」帆を上げて、今日も無事、出航することが出来ました。

～只今のソロは、我が団の団長、「山路永司」でした。

そして、指揮はキャプテン「大久保憲」。

加えて、本日の乗組員、総勢40名。

「帆船日本丸を愛する男声合唱団」です。

どうぞ宜しくお願い致します。

～私達は、

大型の帆船が活躍した時代に、船乗り達が甲板で歌った「労働歌」

「シーシャンテ」→シーは海。シャンテは歌。

「シーシャンテ」を、主な、レパートリーとして居ります。

②次の曲も、シーシャンテから、「I' ve got six pence」です。

”6ペンスも貰った、王様の気分だ”と歌っていますが、

実は、船乗りの給料が安いことを皮肉っているのです。

「I' ve got six pence」お聴き下さい。

③「日本語で歌う海の歌」も、私達の大切なレパートリーです。

～北海道民謡「そうらん節」です。 お聴き下さい。

④次は、明治大学マンドリン倶楽部・横浜公演に因んで、

横浜を歌った歌、2曲が入った「海メドレー」をお送りします。

「海メドレー」お聴き下さい。

～只今のセリフは、

横浜生まれ、横浜育ち、生粋の浜っ子「佐藤精吾」でした。

⑤最後の曲は、「Rolling Home」。国へ帰ろう。です。

～私達も、演奏が終わりましたら、楽屋に帰ります。

～と言う事で、アンコールはございません。

シーシャンテの解説。定期演奏会、入団のご案内等、

詳しくは、プログラム、我が合唱団紹介ページの「QRコード」にてご覧頂き

度。宜しくお願い致します。

～最後になりましたが、ここまでのご案内は、
昭和39年、東京オリンピックの年に卒業。今年卒業60年を迎えました、
明治大学OB 鈴木昭が担当させて頂きました。ありがとうございました。

～「Rolling Home」。お聴き下さい。

★ 「Rolling Home」歌い終わり、幕が下りるのに合わせ、
全員で手を振って、→エンド。